

校長の想い6月

## ボランティアのすすめ

うっとうしい梅雨の時期が近くなりました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、人は夢をもつことが大切だと思います。その夢をかなえるために、様々な努力をすることが人を成長させるものだと考えます。

私がまだ副校長だった時です。書店に並べられた一冊の本に目が止まりました。

「夢をかなえるゾウ」水野敬也著

夢をなくしたサラリーマンがガネーシャという関西弁のゾウと出会う話です。

サラリーマンの、夢をかなえられない行動について、ガネーシャが戒めるストーリーで、夢をかなえるために、ガネーシャによるいくつものアドバイスが出てきます。

たとえば、靴をみがく、コンビニでお釣りを募金する、食事を腹八分目におさえる、会った人を笑わせる等、アドバイスが続きます。

私がこの中で、なるほどと思ったことは、「コンビニでお釣りを募金する。」でした。

とは言っても、ここは島なのでコンビニなどはありませんし、高校生は自由になるお小遣いも少ないと思います。

そこで、学生諸君はボランティアを行うことが良いのだと感じました。

寄付をすること。お金がなければボランティア活動をすることが寄付をすることと同等な行為であると思います。

自分が出来ることで、人を助けることにつながれば、きっとその人の大きな夢もかなえることが出来るのではないかと私は信じています。